

医療・福祉業界のオンライン研修に関する 調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>

目次

調査概要	P.3
-------------	------------

サマリ

1. 医療・福祉業界におけるオンライン研修の実施状況	P.4
2. オンライン研修の導入に関して	P.5
3. オンライン研修の成果と課題・今後の展望	P.6

調査結果

1. 医療・福祉業界におけるオンライン研修の実施状況	P.7
2. オンライン研修の導入準備	P.16
3. オンライン研修の成果	P.21
4. オンライン研修の課題と今後の取り組み	P.28

調査目的	医療・福祉業界のオンライン研修の実施状況や成果、課題を確認すると共に、今後の取り組みの方向性を探る
調査手法	アンケート専門サイトを用いたWebアンケート調査
調査期間	2023年4月13日～14日
調査対象者	医療・福祉系企業・団体のオンライン研修の運営担当者 ※オンライン研修を導入している全国の医療福祉系企業・団体 ※eラーニングシステム、Web会議ツール、動画配信システム、オンライン研修サービスなどを使用してオンライン研修を行っている企業・団体
有効回答数	100名
実施主体	eラーニング戦略研究所

- ☑ オンライン研修を導入している企業・団体では「**研修をほぼオンライン化**」「**対面とオンライン研修を併用**」があわせて77%。
- ☑ オンライン化のきっかけは「**コロナ禍で対面研修が実施できなくなった**」90%。
コロナ禍に緊急導入されたオンライン研修が、現在も積極的に活用されている。
- ☑ 業務用パソコンでの受講が73%と最多だが、**個人のパソコン・スマホでの受講もそれぞれ4割程度**。時間・場所・状況に応じて複数の端末を使い分け、フレキシブルに研修を受けている様子が見えてくる。
- ☑ オンライン研修では主に「**ライブ配信講義**」「**オンデマンド動画**」「**スライド教材**」が利用されている。

- ☑ オンライン研修の実施のために導入した機能は**eラーニングの3大機能である「受講」「教材制作」「受講履歴管理」**。そのほか「動画配信機能」もニーズが高い。
- ☑ 導入時は**「ネット環境整備」「オンライン機材導入」「システム選定」「教材準備」などの各準備が大変だった**とい意見が非常に多い。これはそのままオンライン研修の課題にもつながっている。
- ☑ オンライン機材を扱える人材不足、ネット接続の不安定さも指摘されている。

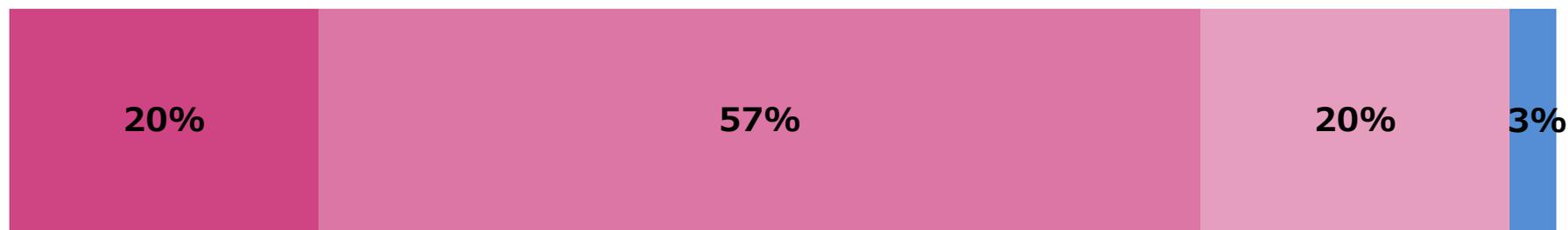
- ✓ オンライン研修の最大の成果は「**時間・場所を問わず受講可能になった**」
「**受講率が上がった**」。
- ✓ **83%がコストを抑えながら利便性向上を実現**。上記成果以外にも「職員の意欲・労働生産性が上がった」「運営管理を効率化できた」「社内連携が取りやすくなった」など、研修のオンライン化で多くのメリットが生まれている。
- ✓ 課題は「**準備の手間・時間**」「**さらなる質の向上**」「**ネット環境**」等。
- ✓ **オンライン研修の拡充**のほか、「自動で研修内容をまとめてくれる機能」「運営も簡素化できるシステム」といった**新たな機能・サービス**が求められている。

アンケート調査結果

1. 医療・福祉業界における オンライン研修の実施状況

「ほぼオンライン化」「対面とオンラインを併用」があわせて77%。
オンライン研修が積極的に活用されている。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

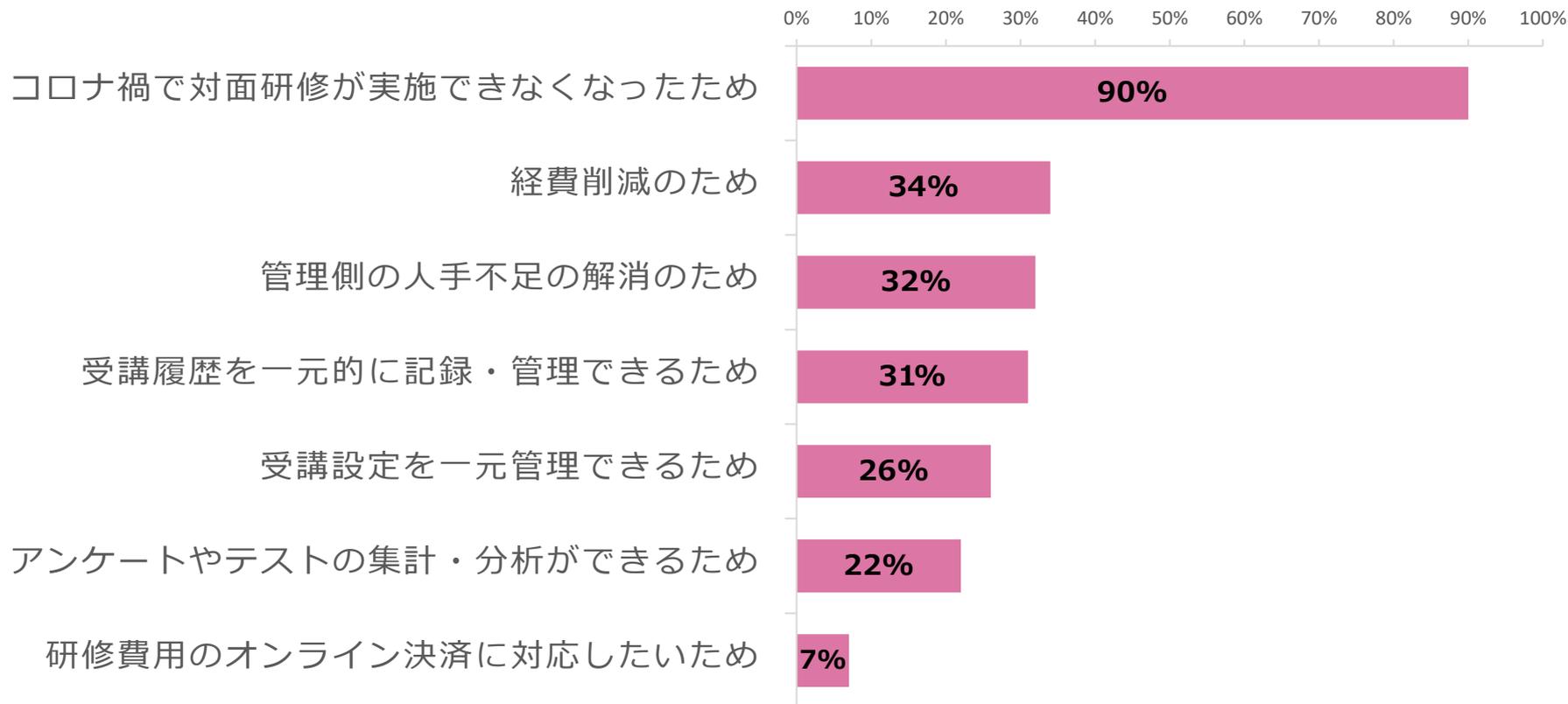


- ほぼオンライン化
- 対面とオンラインを併用して運用
- 一部を不定期または単発でオンライン実施
- その他

Q：あなたの企業・団体におけるオンライン研修の実施状況について教えてください。(n=100)

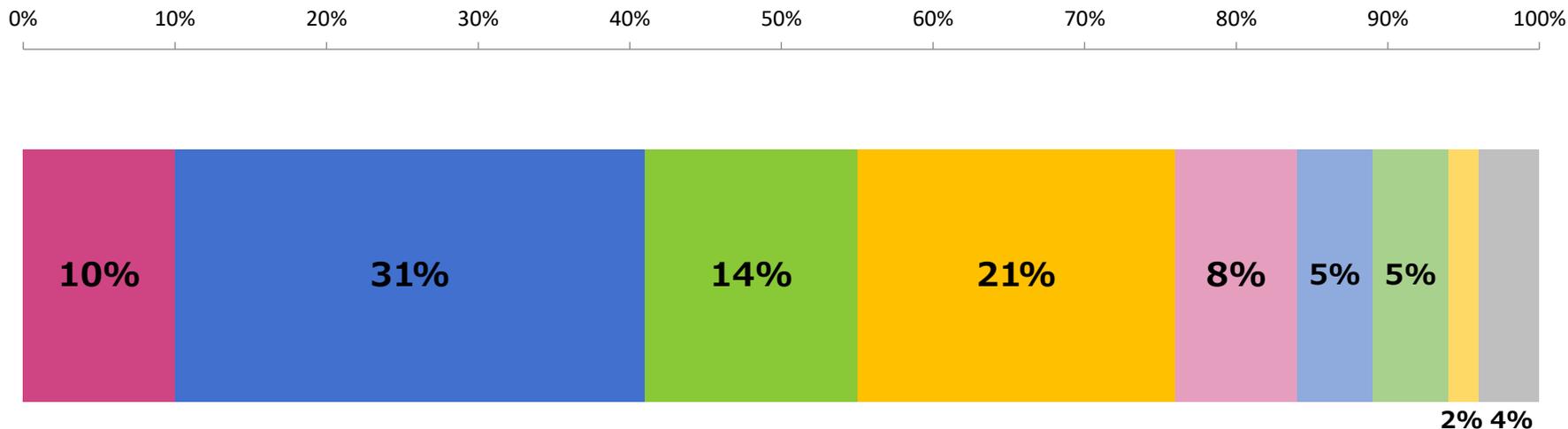
オンライン研修を導入したきっかけ

導入きっかけ1位は「コロナ禍」。「経費削減」「管理業務の効率化」「受講履歴の一元管理化」などの課題意識がある中でコロナ禍が最後の一押しになった可能性が推察される。



Q：オンライン研修を導入したきっかけについて当てはまるものをすべて教えてください。(n=100)

100名未満が過半数。受講人数は企業団体規模によっても変わると考えられる。



■ 10名未満

■ 10名～50名未満

■ 50名～100名未満

■ 100名～300名未満

■ 300名～500名未満

■ 500名～1,000名未満

■ 1,000名～3,000名未満

■ 3,000名～5,000名未満

■ 5,000名～10,000名未満

Q：オンライン研修の受講対象人数を教えてください。（n=100）

数名で運営している企業団体が主流。数十名が携わる大規模なものも17%。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 1名

■ 2名～5名

■ 6名～10名

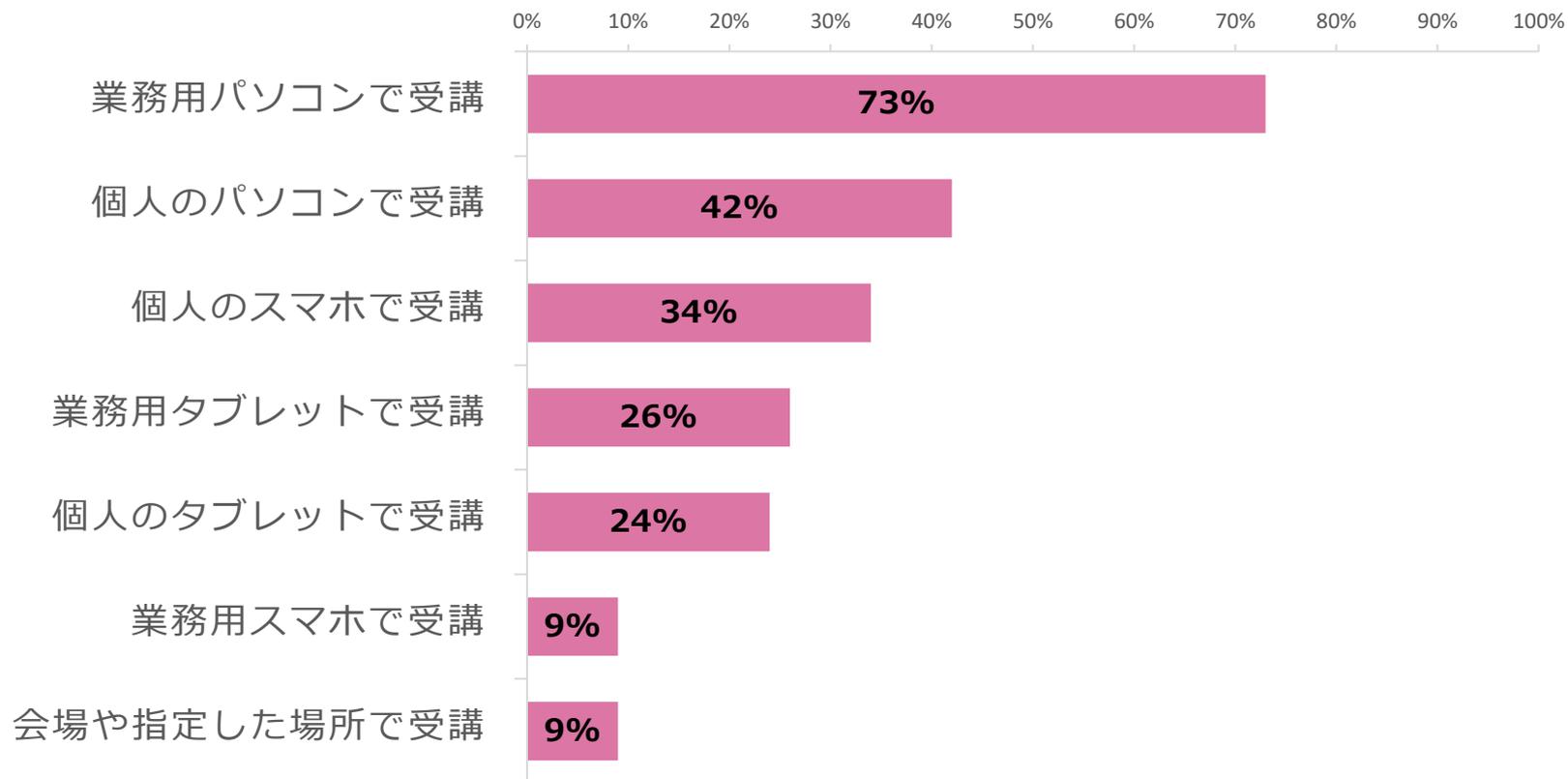
■ 11名～25名

■ 26名～50名

Q：オンライン研修の運営に携わっている人数を教えてください。（n=100）

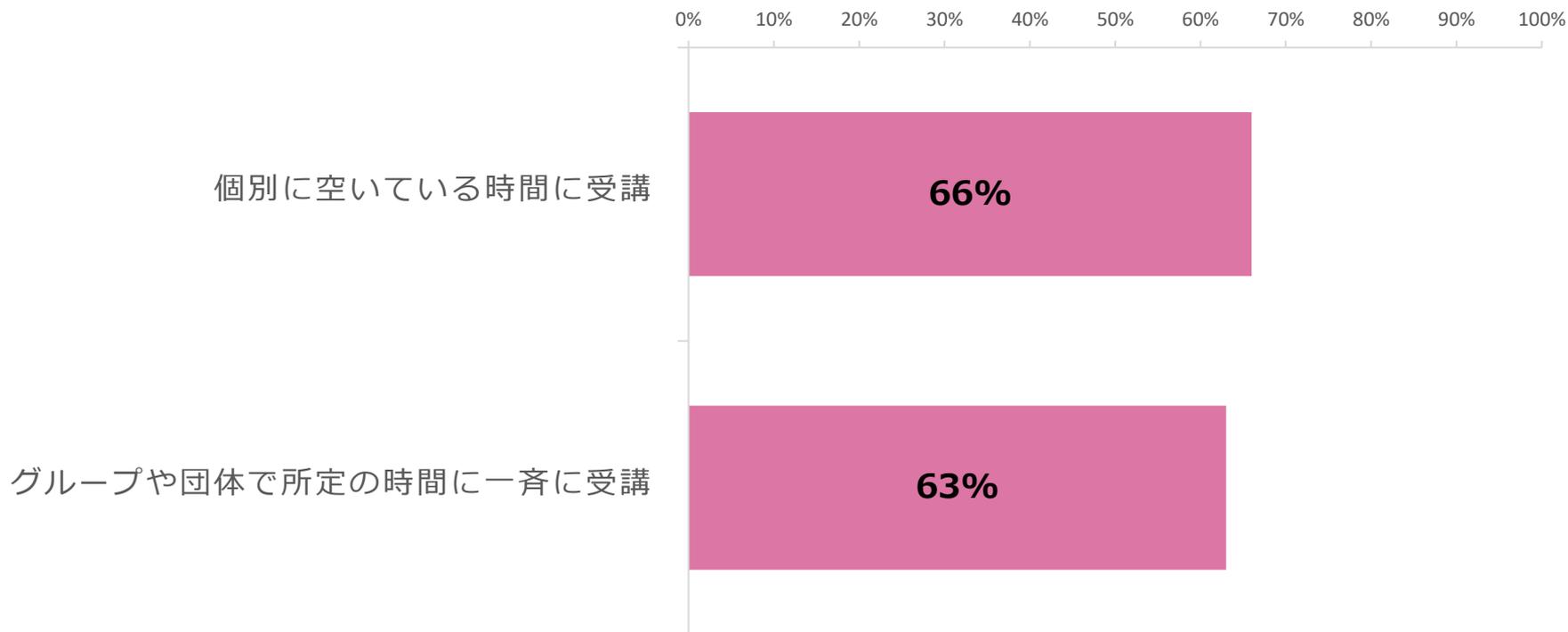
オンライン研修の詳細（受講方法）

業務用パソコンでの受講が最多だが、個人のパソコンやスマホでの受講も少なくない。
時間・場所・状況に応じて複数の端末を使い分け、フレキシブルに研修を受けている様子が見える。



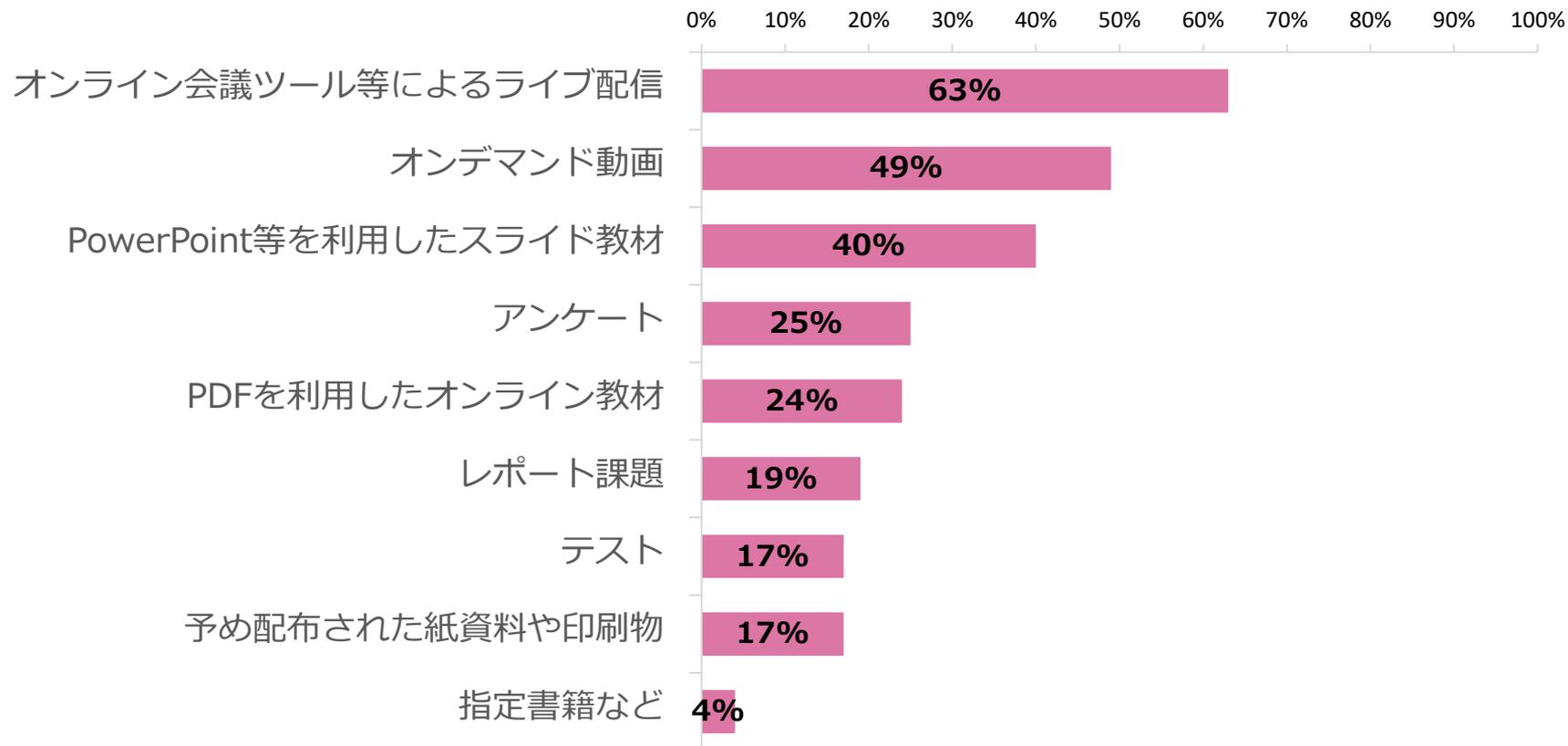
Q：オンライン研修の受講方法について当てはまるものをすべて教えてください。(n=100)

「空き時間に個別受講」と「決められた時間に一斉受講」がほぼ同率。
オンライン研修とはいえ、研修内容や企業団体によっては“好きなときに受講できる”わけではないようだ。



Q：オンライン研修の受講スタイルについて当てはまるものをすべてお答えください。(n=100)

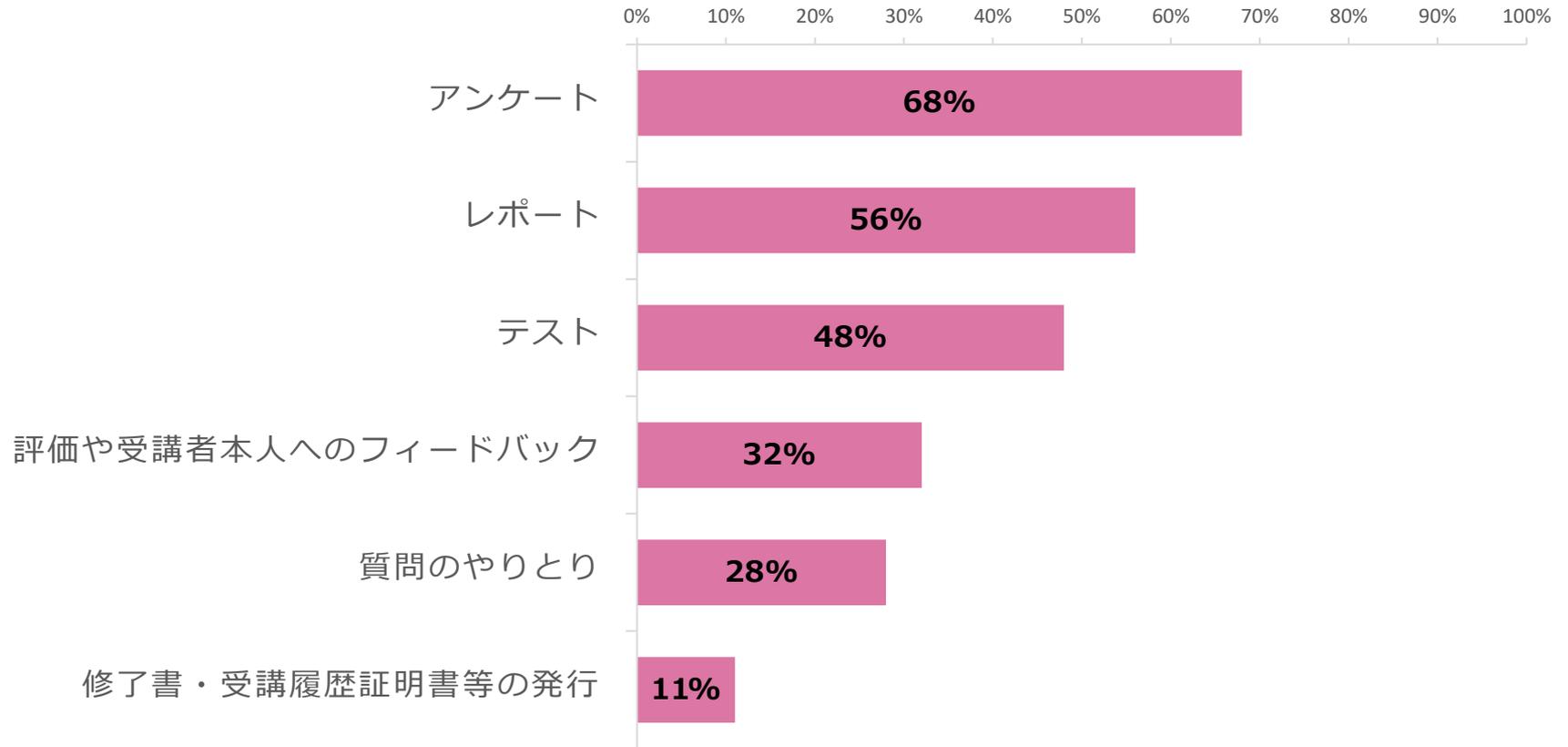
オンライン研修で利用されている教材トップ3は「ライブ配信講義」「オンデマンド動画」「スライド教材」。



Q：オンライン研修でどんな教材を利用していますか？当てはまるものをすべてお答えください。(n=100)

オンライン研修後に実施していること

「アンケート」「レポート」「テスト」を実施している企業・団体が多い。
オンライン研修の理解度チェック・知識定着確認のために実施しているものと推察される。

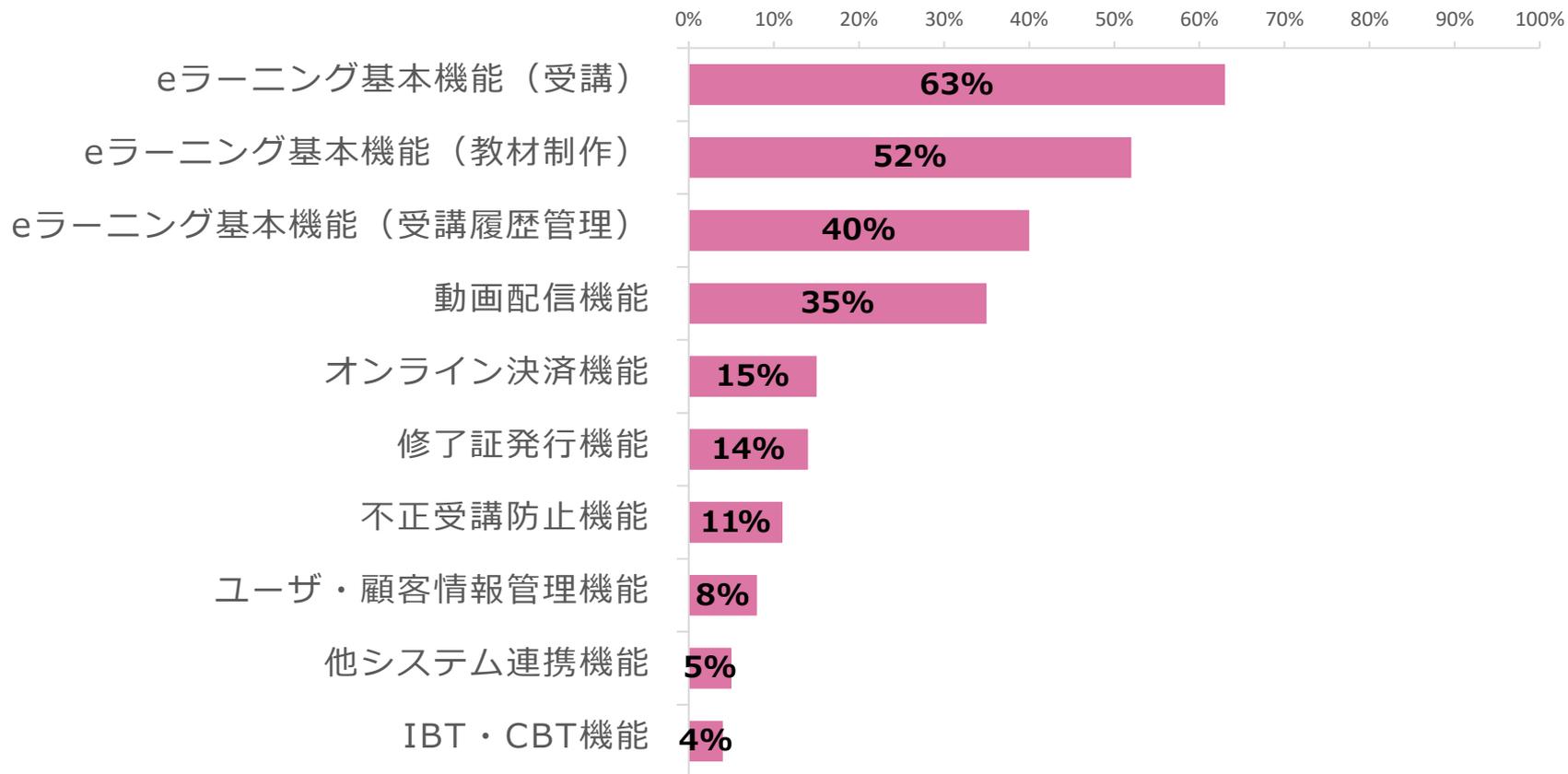


Q: オンライン研修後、実施していることについて当てはまるものをすべて教えてください。(n=100)

アンケート調査結果

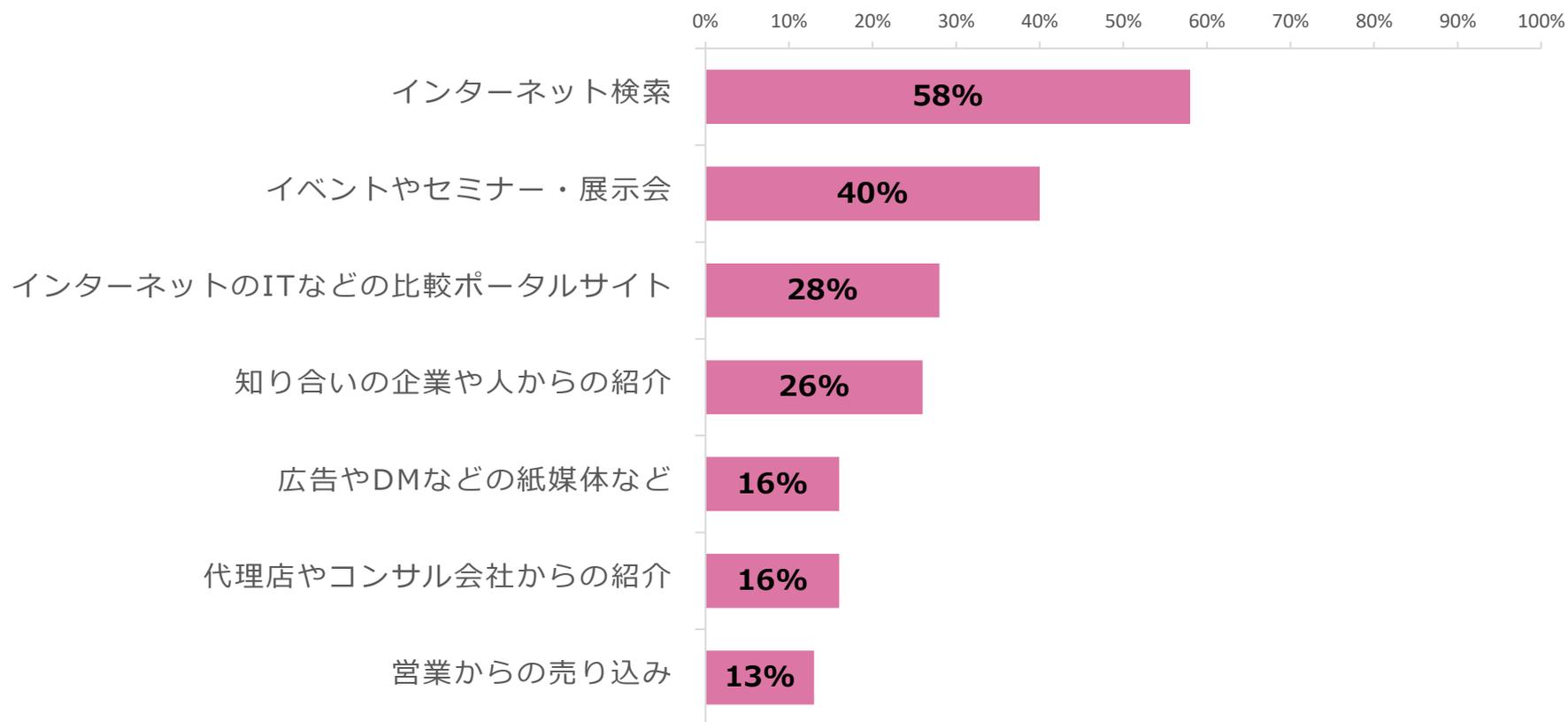
2. オンライン研修の導入準備

eラーニングの3大機能「受講」「教材制作」「受講履歴管理」の導入率が高い。
「動画配信機能」のニーズも高い。



Q：オンライン研修の実施にあたり、導入した機能について当てはまるものをすべてお答えください。（n=100）

システムベンダーやオンライン研修サービス企業の選定方法としては「ネット検索」「展示会などのイベント」が主流。



Q：オンライン研修サービスの企業をどのように選定しましたか？当てはまるものをすべてお答えください。（n=100）

オンライン研修の導入で大変だったこと①

「ネット環境整備」「オンライン機材の導入」「システム選定」「教材準備」など導入のための各準備が大変だったという意見が多い。また人材不足も指摘されている。

<p>42%</p> <p>導入準備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット環境の整備 ・オンライン機材を導入すること ・どのツールを使用するか検討するのが大変だった。その為の情報収集も時間がかかった ・初期の導入時、メーカーさんも含め仕込みが大変だった！ ・会議室へのパソコン移動 ・教材探し ・受講項目の登録 ・録音
<p>16%</p> <p>使いこなせる人材が少ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機材のセットをできる人材が少ない ・タブレットなどの機器を使用できない人が多い ・システムの操作に慣れるのが大変 ・配信する動画の作成やシステムの操作方法に慣れること ・導入当初はテクノロジーの使い方に慣れなかった
<p>11%</p> <p>ネット接続が不安定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境が途切れた時に時間を要して大変だった ・時々、途切れることがある。質問はしづらい ・接続が不安定 ・電波がとぎれる ・電波状況

Q：オンライン研修に関することで大変だったことは何ですか。(有効回答数64)

社内への周知徹底、ルールや手法の確立が大変だったという意見も見られた。

6%	周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・周知の徹底 ・やりかたを皆に周知させること ・ルールを浸透させること
6%	コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラ整備する為にコストがかかりました ・コスト ・経費削減するので難しい
5%	手法の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は誰から話すのか、どのタイミングで意見交換するのかがなかなか慣れなかった また通信が途切れてしまうこともあった ・手法の確立 ・管理範囲をどこまで行うかの決定
14%	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の緊張感が保てなかった ・アンケートのまとめ ・どの研修を選べば良いかわからない事がある ・技術的な面と、セキュリティの面はいまだ改善中です ・字が見えづらかった ・質問がしづらい

Q：オンライン研修に関することで大変だったことは何ですか。(有効回答数64)

アンケート調査結果

3. オンライン研修の成果

オンライン研修による成果①

最大の成果は「時間・場所を問わず受講できるようになった」。
それにより「参加できる人数が増え」「職員のモチベーションが上がった」など良い結果につながっている。

<p>37%</p> <p>時間・場所を 問わず受講可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き時間にできるので便利 ・受講者が自由に時間を選べる ・日程に左右されることなく気軽に受講することができる ・職員ができる時間に学べるのでとても有意義です ・地方でも受講しやすくなった ・わざわざ会場まで行かなくても見れるようになったこと ・移動時間が節約できる ・気軽に参加出来るのが良い ・どこにいても同一の講義が受けられる為、すごく便利になった様に感じる
<p>14%</p> <p>参加者増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な時間に受講できるようになったため、受講率が上昇した ・参加率が上がった ・研修の回数が多くなった。参加できる人数が多くなった。 ・参加人数も増え評判も良いです。 ・参加者が増えた 介護給付費の加算が算定され売上があがった ・参加人数が増え、コストを抑えられた
<p>14%</p> <p>意欲向上 教育効果向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の意識向上 ・研修後のモチベーションがあがった ・理解が深まっている ・とても効果があると思います

Q：オンライン研修導入による成果は何ですか。(有効回答数71)

オンライン研修による成果②

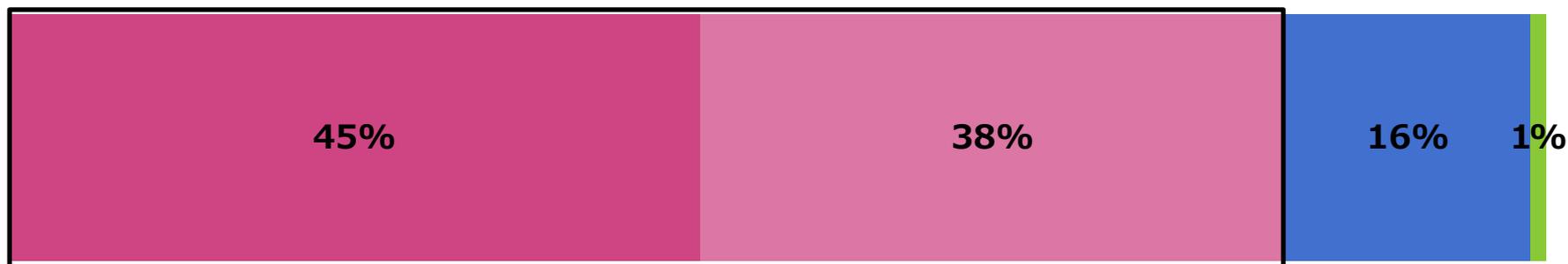
受講側のメリットだけでなく「運営管理の効率化」も大きな成果である。
オンラインだからこそちゃんと受講しているかどうかを確認できるようになったという声も。

<p>14%</p> <p>運営管理の 効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理労力が減った ・とにかく受講記録の管理がしやすい！受講者も隙間時間に受講できるため、残業が少なくなった！ ・最初は慣れなかったが、今はオンラインが効率良く、移動時間や会場確保の手間も省け、管理もしやすくなっている ・気軽に研修を開催できる ・研修がしやすくなりました ・オンラインだと動画視聴後のテストの回答に要した時間や点数まで把握できるので、しっかり動画を観て勉強している人なのか、適当に回答だけしている人なのかの違いが分かるのが良かった
<p>7%</p> <p>感染症対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集まる事なく研修できて安心 ・コロナ禍ではわざわざ人と接する機会が減り 安心して受講出来る事ができたのが良かった ・感染対策に繋がっている
<p>14%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りにくかった事は再度見る事ができる ・少ない経費で出来るので良い ・経費節減 ・とてもいい ・知識が本当に得られたとは全く思えない ・かなり満足しない結果になっている

Q：オンライン研修導入による成果は何ですか。(有効回答数71)

コストダウンできたのは45%。「導入前とほぼ同じ」もあわせると83%がコストを抑えながら利便性向上を実現しており、オンライン研修の導入に成功していると言える。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



83%

- トータル的にコストが下がり便利になった
- 導入前と導入後とコストは同じくらいだがより便利になった
- コストは以前より上がったが便利になった
- その他

Q：オンライン研修導入による人・モノ・時間など全体のコスト感は導入前と比較してどう変化しましたか？ (n=100)

成果と同じく「受講率が上がった」「受講者が好きな時間・場所で受けられるようになった」「意欲や生産性が上がった」などのポジティブな変化が多い。

<p>25%</p> <p>受講率アップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加率の向上 ・受講率が上がった ・参加者が増えた ・研修受講者が増えた ・受講率の上昇により、未受講者へのフォロー業務が軽減されるようになった ・多くの人数が参加できるようになった。 ・参加率が高くなった。動画にする事で無駄な所をスキップ出来る
<p>19%</p> <p>受講者の 利便性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の空き時間で受講できる ・全国から参加できるからメリットが多い ・自分自身で勉強ができる ・各自で好きなタイミングで受講できるのは良い ・毎月違った講習が受けれるので、助かります ・業務時間の有効利用 ・超過勤務が少なくなった
<p>17%</p> <p>生産性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の労働生産性が見る見るうちに上がりました ・職務態度の向上 ・職員意識変化 ・意欲があがった ・アンケートの評価が良くなった ・基本知識の差が少なくなってきた

Q：オンライン研修導入後の運営や受講における変化について教えてください。(有効回答59)

オンライン研修の運営や受講における変化②

「運営・管理業務を効率化できた」という意見も多い。
一部、「従来より効率低下」「受講者の反応がわかりにくい」などネガティブな意見も見られた。

<p>17%</p> <p>運営管理の 効率化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでひとつの講習しかできなかったところに複数設けられる効率の良さがあります ・企画運営が簡略化される ・研修にかける準備等が楽になった ・管理労力が減った ・受講率の管理がしやすくなった！ 双方、メリットがおおきかった！ ・事前に動画を作成することで研修を実施できる ・運営側の利点として、管理や連絡がしやすくなった事でその事に対してかける時間がすごく減った。業務の簡素化にとっても役立っている
<p>10%</p> <p>良くない 変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインだからか、質問が少ない ・従来より効率が低下した ・対面で行った方が良い場合もあることをした。受講生の反応がいまいちわからないことがある ・もう少し分かりやすい内容にする必要がある ・習熟度及び実施時間数は受講者を信じるしか無い
<p>12%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの意見交換ルールやフィードバックなどの流れが安定してきている ・基礎教育には最適 ・魅力的 ・交通費などで経費削減が出来た ・お互いに安心して取り組めたのが良かった。

Q：オンライン研修導入後の運営や受講における変化について教えてください。(有効回答59)

「社内連携が取りやすくなった」「部の垣根を越えて取り組んでいる」「他部署の交流が活発化した」などよい変化が生まれている。

<p>41%</p> <p>連携力が向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連携がとりやすくなった ・迅速に対応できるようになっている ・組織の一体化向上 ・共通認識強化 ・これまでIT部門が独立して行っていた業務を部の垣根をこえて取りかかっている ・教育研修部が中心となって研修プログラムを立てていたが、オンライン以降は各事業部でも研修プログラムを作るようになった ・上手くいってます
<p>21%</p> <p>他部署間の交流が活発化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが増えた ・連携して取り組む事でコミュニケーションが増えて良かった ・別々の職場の交流 ・多部署で情報共有が可能となった ・密に関われる ・レポートの提出により以前より密に取れるようになった。
<p>17%</p> <p>良くない変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会う機会が減った ・機材の準備を行える人材の部署に丸投げされている ・研修委員会で工夫しなくてはならないし連携しなくてはならないと思う
<p>21%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・協調性ができモチベーションがあがった ・研修に参加しやすくなった

Q：複数の部署や組織との連携の変化について教えてください。(有効回答数29)

アンケート調査結果

4. オンライン研修の課題と 今後の取り組み

オンライン研修の課題①

1番の課題は準備の大変さ。導入準備や動画作成などの手間や時間が、担当者の悩みとなっている。
オンライン研修のさらなる質の向上も今後の課題だ。

24%	準備の 手間・時間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備段階に時間を要する ・ 準備大変 ・ 準備する時間と手間 ・ 動画を作成する時間がかかる ・ 機材の準備など
12%	質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材をオンラインに適したものに变えたい ・ 受講者の知識の習得率にどう繋がるか ・ 質の向上 ・ 伝わりやすさ ・ 時間が長い
12%	ネット環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット環境の充実化 ・ ネット環境がしっかり整っている事 ・ 個人個人の家庭によりオンライン環境がまちまちである
12%	コスト <ul style="list-style-type: none"> ・ 経費削減 ・ コスト面が心配 ・ コストがかかることです。

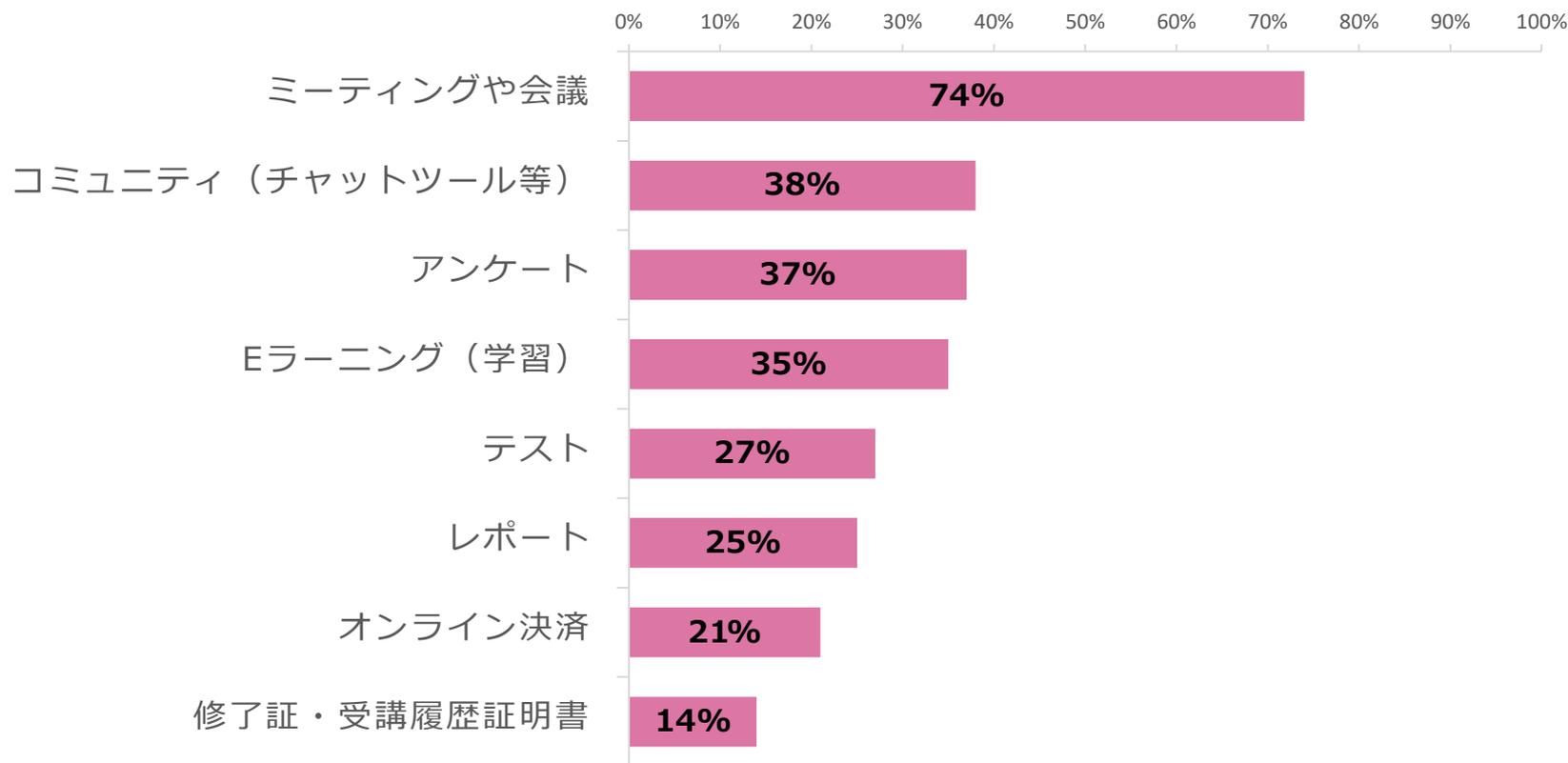
Q：オンライン研修の運営上の課題は何ですか？（有効回答数41）

日時を決めて一斉受講している職場では、参加できない職員が多いなど課題が残っている。

<p>7%</p> <p>人材不足</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルに詳しい人材が少ない ・だれでもが運営できない ・人手不足
<p>5%</p> <p>セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰返しになってしまいますが、セキュリティ面は大きな課題です。 ・セキュリティ問題
<p>29%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実技演習を行うにあたって会場参加の方が良い時もある ・オンラインと現場研修を併用していくなかで、どちらも効果を測れるようにしたい ・日時を決めて一斉に受講しているが、勤務の都合上参加できない職員が多い ・数人で運営している為、お互いの仕事の進捗状況が分かりにくいいためそこを改善したい ・課題はたくさんありすぎて一言では言えない ・時間外になってしまう

Q：オンライン研修の運営上の課題は何ですか？（有効回答数41）

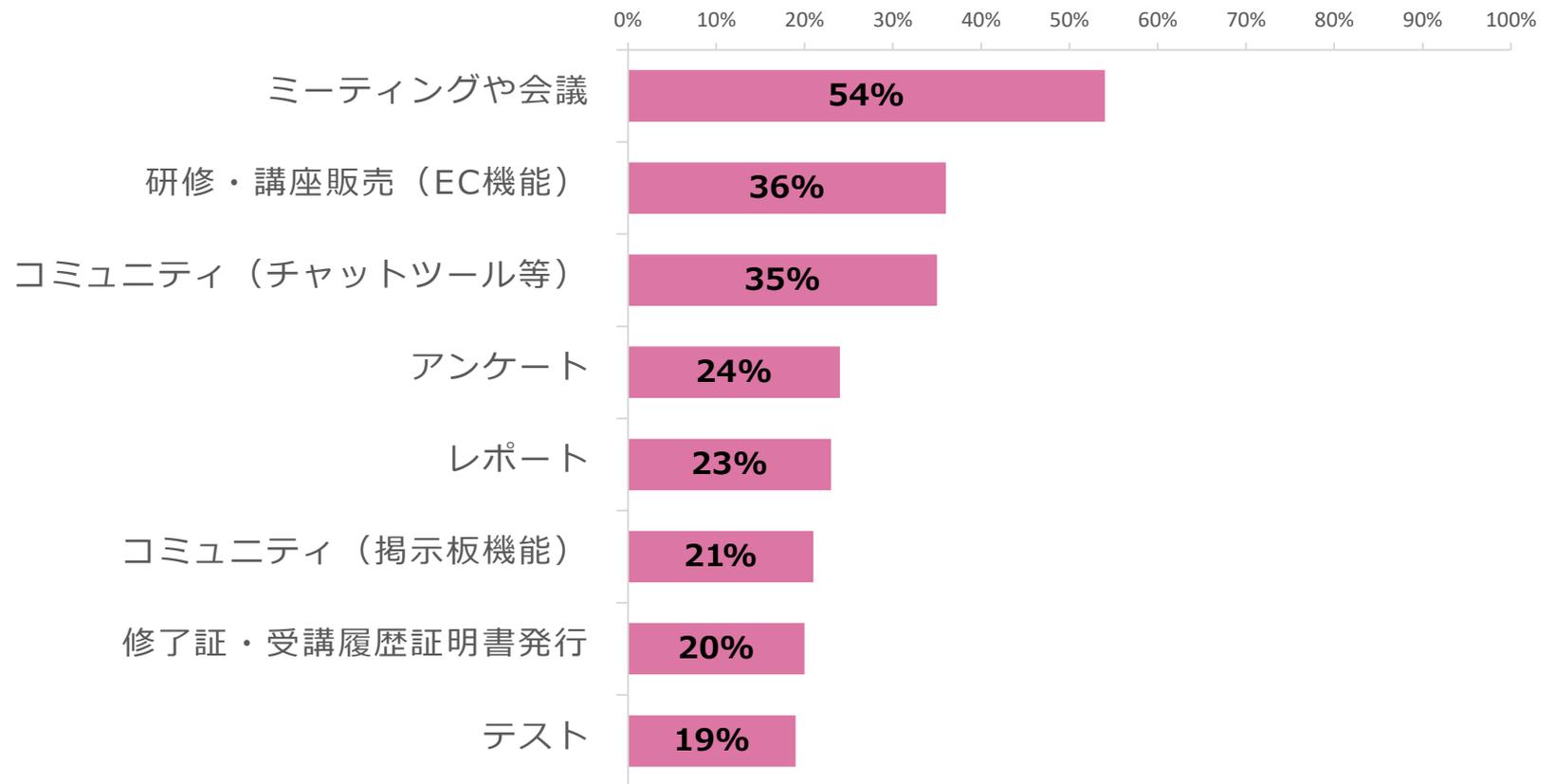
研修以外では「ミーティング・会議」をオンライン化している企業・団体が多い。



Q：あなたの企業・団体において、オンライン研修以外でオンライン化しているものをすべて教えてください。（n=100）

オンライン研修以外でオンライン化したいもの

今後オンライン化したいのはミーティング・会議のほか、「研修・講座販売(EC機能)」「チャットツール等のコミュニティ」などが挙げられた。



Q: あなたの企業・団体において、オンライン研修以外でオンライン化を期待しているものをすべて教えてください。(n=100)

多くの企業・団体で、オンライン研修のさらなる拡充が目指されている。

54%

オンライン研修の さらなる拡充

- ・ 会場での参加とzoomを使用してのハイブリッド型を検討中
- ・ 対面と同じようなグループワークができるといい
- ・ フィードバックを含めた交流
- ・ 動画を使った研修を多くしたい
- ・ 研修後のテスト
- ・ ライブ機能
- ・ チャット機能があればいいかと思った
- ・ 受講者の状況を録画する機能
- ・ 自動で研修内容をまとめてくれる機能がうれしい
- ・ セキュリティを強固にしつつ、新たな受講を募集する
- ・ 運営側も簡素化できるシステム
- ・ 研修内容の充実
- ・ 虐待防止研修
- ・ 損益分岐点の研修をやりたいです
- ・ オンライン資料の改訂
- ・ こちらの手が一切かからないもの
- ・ わかりやすさ
- ・ 通信のスムーズさ、リアルタイム音声の明確さ
- ・ さらに使いやすいサービスの入手

Q：今後の取り組みの方向性について教えてください。(n=100)

「オンライン研修の現行継続」も多く、「オンライン研修の縮小化」を考えている企業・団体はごく少数。

<p>20%</p> <p>現行継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用したい ・継続していきます ・今後も、オンライン研修を続けます ・現行継続 ・今まで通りでよい
<p>7%</p> <p>受講率向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受講率のさらなる向上 ・受講率の向上 ・もっと参加者を増やす
<p>18%</p> <p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の動向で決めていく予定 ・検討中 ・今後はオンライン研修をできるだけ縮小していきたいです ・好きな時間に好きな講座が参加出来るように取り組みたい ・自分の好きな時に受講できるような仕組みにしていきたい ・日常業務のオンライン化 ・チャットGPTを悪用されないようにしたい ・月に一度程度の開催を定期化したい

Q：今後の取り組みの方向性について教えてください。(n=100)

医療・福祉業界のオンライン研修に関する調査報告書

デジタル・ナレッジ 調査

検索

2023年6月発行

発行：株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute
株式会社デジタル・ナレッジ <https://www.digital-knowledge.co.jp/>